



2026年6月25日

各位

会社名株式会社パワーエックス

代表者名 取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕

(コード番号：485A 東証グロース市場)

問合せ先 執行役コーポレート領域管掌 CFO 藤田 利之

(TEL：03-4400-7296)

通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年2月13日に公表した2026年12月期通期（2026年1月1日から2026年12月31日）の業績予想について、本日開催の執行役会において下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益 (注)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,000	2,500 ～3,000	2,000 ～2,500	1,000 ～1,500	1,000 ～1,500	9.17 ～13.75
今回修正予想 (B)	40,000	2,500 ～3,000	2,000 ～2,500	1,000 ～1,500	1,000 ～1,500	8.72 ～13.09
増減 (B-A)	2,000	-	-	-	-	
増減率 (%)	5.2%	-	-	-	-	
(参考) 前期実績 (2025年12月期)	19,306	△137	△677	△1,796	△1,646	△17.13

(注) 当社は、2026年6月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

当社は、蓄電システム事業における足元の受注状況、生産進捗および売上計上見通しを再精査した結果、2026年12月期の連結売上高予想を従来の38,000百万円から40,000百万円へ上方修正することといたしました。

一方、営業利益、EBITDA以下の各段階利益については、従来予想レンジを据え置きます。

当社が開発を進めるデータセンター関連製品については、複数のお客様から具体的な評価・実証に関するご要望をいただいております。これらの市場投入および商用化を加速するため、Power Base Hokkaidoに、評価に供する実証環境を整備する方針です。Power Base Hokkaidoは2027年6月より製品生産を開始する予定ですが、一部区画を利用して工場稼働に先行して2027年1月ごろを目処に本製

品の設置を行う予定です。

当該実証環境では、AI サーバー等の実負荷環境下において、蓄電システム、電源、冷却設備およびサーバーを統合した性能、安全性、応答性および運用性の検証を行い、お客様による実機評価、製品仕様の最適化および量産・商用導入に向けた準備を進めます。

サーバー機器、蓄電システム、電源・冷却設備その他の検証設備を含む追加投資額は、総額 300 百万円～500 百万円を見込んでおります。増収に伴い見込まれる追加的な収益余力の一部を本投資に戦略的に振り向けるため、営業利益、EBITDA 以下の各段階利益については従来予想レンジを維持する見込みです。

本投資は既存の蓄電システム事業における採算性の悪化に起因するものではなく、足元の需要機会を踏まえ、2027 年以降のデータセンター関連事業の成長機会を取り込むための前倒しの成長投資です。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値に変更はありませんが、当期中における新株予約権（ストックオプション）の行使に伴う発行済株式数の増加に伴い、1 株当たり当期純利益の予想数値を修正しております。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上